

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年 一月度 入選句 (投稿総数二千四百二十四句・小中学投句数千八百十二句)

特選

選者 遠藤 幹郎

たこの糸たりなくなつた高い空 大垣市 小林 りん子(小二)

お正月のたこあげのようすが目に浮かぶように詠めました。「たこの糸たりなくなつた」で、よい風を受けたたこが、どこまでも果てしない空へぐんぐんたこ糸を引つづつて上がっていく姿が、実によく十七音にまとめることができました。小林さんも、きつと、たこあげで初体験だったでしょう。

おはようが学校ゆるがす冬の朝 大垣市 木村 美月(小六)

寒い冬の朝を吹きとばすように、登校してくる子たちが、元気に大きな声で、「おはよう」のあいさつを呼びかけ合う様子が生き生きと表現できました。「学校ゆるがす」の表現が、とてもよく効いた一句です。きつと、木村さんの通う学校は、「あいさつ運動」が活発に行われていることと思います。

電飾できれいに着かざる冬の町 美濃加茂市 長谷川 怜香(中二)

「電飾」は、色とりどりの豆電球などを木々の枝や、物の輪郭に取りつけてあかりをつけ街を彩るもの。イルミネーションのこと。十二月ともなると、大垣の駅前通りや公園などを美しく彩る夜景を楽しめます。「きれいに着かざる」の表現がよく効いた一句です。電飾は、冬の街を明るく彩る夜景の風物詩ですね。

秀逸

クリスマス朝が楽しみねむれない 大垣市 近藤 ひなた(小五)

サクサクと音をかなでるしもばしら 大垣市 多賀 遥(小五)

冬の夜おなべを囲む家族の輪 大垣市 川瀬 唯華(小五)

雪道にいろんなあしあとならんでる 美濃加茂市 長谷部 柚羽(中二)

からっ風私の頬をかすめてく 美濃加茂市 後藤 佳乃(中二)

雪の中サンタはひたすら夢運ぶ 美濃加茂市 水谷 蒼空(中二)

白鳥の白い姿は天使だな 美濃加茂市 高井 檀(中二)

窓のふちつららが連なり背くらべ 美濃加茂市 岡田 亜弓(中二)

芭蕉さん枯木の下でみつめる目 大垣市 川地 杏佳(小六)

持久走冬晴れの中ゴールイン 大垣市 高橋 優斗(小六)

入選

雪がっせんたくさんあてられ倍返し 大垣市 山田 健太(小四)
 ストープで共にくつろぐぼくとねこ 大垣市 早野 恵濕(小五)
 雪だるまいっぱいつくって大家族 大垣市 浅野 聡美(小五)
 冬の風北から南へふき通る 大垣市 横井 咲桜(小五)
 まるっこい全身真っ白雪だるま 大垣市 白井 椋亮(小五)
 書きぞめは心あらわす意思表示 美濃加茂市 山田 昇吾(中二)
 年賀状書く時その人思い出す 美濃加茂市 岡本 恩敬(中二)
 冬の朝下る坂道類染める 美濃加茂市 加藤 優奈(中二)
 寒い日は遠く感じる通学路 美濃加茂市 中満 佳菜子(中二)
 もやいぶねこいのかくれが冬の川 大垣市 笠原 陽司(小六)

入選

初笑い家のすみずみひびいたよ 大垣市 井上 桃(小五)
 はつもうでおねがいごととしてほつとする 大垣市 かわせ けいと(小一)
 はつもうでことしのねがいかなうかな 大垣市 佐藤 実祐(小三)
 空高く風をみかたにゆれるたこ 大垣市 中村 れいと(小三)
 ふくわらいわたしの顔にそっくりだ 大垣市 山村 咲絢(小三)
 年賀状だれからくるか楽しみだ 大垣市 森下 香奈(小五)
 歌留多取りぼくが勝つまで何回も 大垣市 芦野 涼也(小五)
 去年より重い今年のお年玉 大垣市 井上 奈菜未(小六)
 こたつのね中にはペットがいそうろう 大垣市 川瀬 藤矢(小六)
 朝練ではく息白く走る日々 美濃加茂市 藤吉 英歌(中一)

選者吟

白水仙向きそれぞれに咲きにけり

幹

郎